

科目番号	FA103				
科目名	里山資源利用論(木質バイオマス、特用林産等)				
担当教員	NPO法人森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部、大黒 明子(森林大学校専任教員)ほか				
科目区分	林産	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	15		コマ	( 30 単位時間 )	
実務経験のある教員による授業科目	—	左の実務経験の内容	—		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容	—		
実務経験を活かした授業内容	—				

目的	森林から産出される木材以外の産物の利活用について学ぶ。				
概要	伝統的な里山資源である炭と薪の利用に始まり、木質バイオマスの利活用、きのこ生産など現在の主な経済活動のほか、地域特性に応じた特色ある里山資源の利活用の取組みを学ぶ。				
キーワード	①炭・薪 ②きのこ・竹の子 ③ジビエなど ④木質バイオマス				
関連する科目					
到達目標		森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得			
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得			
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得			
評価方法	試験100%				

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	伝統的な里山資源(1)	(1) 里山資源利用の変遷 (2) 炭の生産と炭の多用途利用 (3) 薪の生産と需要
3～4	伝統的な里山資源(2)	(1) きのこ栽培の基礎 (2) 竹の子栽培の基礎
5～6	フィールドワーク(1)	(1) きのこ栽培施設視察 (2) きのこ栽培技術演習
7～8	特色ある里山資源利用	(1) Newきのこの生産 (2) ジビエの活用 (3) 山菜、薬草栽培の基礎
9～10	木質バイオマス利用	(1) 木質バイオマスの種類と製造方法 (2) 木質バイオマスの特徴と価格 (3) 木質バイオマスの現況と課題 (4) 木質バイオマスの将来
11～14	フィールドワーク(2)	(1) 木質バイオマス発電施設視察 (2) ペレット製造施設、利用施設視察
15	試験	

テキスト	
参考書	
関連する資格	

備考	
----	--